

地方創生に向けた母親が子どものそばで働ける拠点づくり  
 ～民間活力の活用による新たな子育て支援策～（奈良県葛城市）

取組概要

市の子育て支援策として市内の空き店舗・スペースを改装し、託児スペースを併設したサテライトオフィスを葛城市の母親の労働拠点として構築。拠点においては民間事業者と連携しながらテレワークを活用して都市部の仕事を受注することで、葛城市の新たなしごとを創出し、市内在住の母親が子どもを預けながら短時間でも働くことができる環境を構築する。

人口:37,160人(H28.8.1現在)

担当：総合政策企画監/子育て福祉課

取組の効果

本取組においては約100名の母親が拠点での労働に従事する予定(シフト方式で同時に最大約20名が拠点で労働)であり、1人あたり月3万円程度の収入を得ることで、年間約3600万円の市内の家計の収入増となり投資効果として十分効果がある。



拠点イメージ

創意・工夫した点

本取組は民間企業の活力や情報通信技術(ICT)を活用して母親が子育てしながら働くことができるモデルを構築することで、母親の収入増による出生数の増加を図る地方創生に資する取組。

他団体へのアドバイス

地方創生に向けた取組として、テレワークの活用を進めるにあたっては事業を継続的な取組とするために、拠点を造るというハード面の検討よりも、こういった企業と連携するか等のソフト面の検討を十分に行うことが重要。



拠点で働く母親